

<目指す学校像>
生徒が「日本一だ」と誇りをもって
卒業することができる学校

<学校教育目標>
志高く 心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

熊谷東中学校だより
第5号

東雲

令和3年9月28日発行

4つの実践

- 箸ごはんをしっかりと食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

減運動

- 減 テレビの時間を減らします。
- 減 ゲームの時間を減らします。
- 減 スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使い方の宣言

自分や周りの人の情報を守ります。

他人を喜ばせたい。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会から学んだこと ～多様性(diversity)を認め合う「共生社会」の世界に～

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

今夏、記憶に残る出来事といえば、やはりコロナ禍で開催されたオリンピック・パラリンピックを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。連日、複数の放送局が世界中のアスリートの躍動を映し出しており、私も自然とテレビに釘付けになってしまいました。

この大会の基本コンセプトに「多様性と調和」が掲げられていました。「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的及びその他の考え方、国籍、社会的起源、資産、家系、障がいの有無などあらゆる面で異なる人類は、これらの違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで、平和を維持し、さらなる発展を遂げる。」と記されています。

私が個人的に感動した試合も、まさにこのコンセプトに基づき展開されたものであったと振り返れます。その一つめのスポーツは、「AKATSUKI FIVE」の愛称で人気を高めた女子バスケットボールのゲーム。おそらく参加国のどの監督よりも熱い心そして異国語である日本語を通して選手に語りかけながら高いプレイレベルを求め続けたアメリカ人の監督。一見外国の選手かと思ってしまう父親もしくは両親が共に外国出身の選手の存在。他国のチームに比べると明らかに体格で劣る多くの選手たち。まさしく「多様性と調和」を象徴するような15名のメンバーが、人並みならぬ運動量でコートをも所狭しと動き回り、相手ディフェンスの間があれば選手全員が正確な3ポイントシュートを狙い戦いました。王者アメリカに屈したものの、銀メダル獲得は素晴らしい結果でした。



そしてもう一つの種目は、パラリンピック「卓球」です。エジプトのハマドトウ選手(48歳)の試合を初めて見た時の驚きは忘れられません。彼は10歳の時に列車の事故で両腕を失いました。13歳の時身近な友人から「お前には卓球はできない」と言われたことが、卓球を本格的に始めるきっかけになったと話します。悔しさからの出発です。当初は脇の下にラケットをはさんで試したものの上手いかず、口にラケットをくわえるスタイルにたどり着いたそうです。はじめのうちは10分程で歯の痛みにならなくなるなど、試行錯誤の試みを長く続けました。サーブの時には右足でトスを上げて、首を振って左右にショットを打ち分けていました。残念ながら予選リーグで敗退してしまいましたが、試合後、ハマドトウ選手は、「不可能はないということを証明したい。できないことはない」と世界中の人に知ってほしい」と力強く今後の抱負を語りました。不可能と思われることを可能にするための挑戦に何年にもわたって取り組むハマドトウ選手の姿から、健常であるのが当たり前と考えがちな私たちは反省と勇気を教えてもらえました。と同時に、少年時代の友人のひと言をきっかけに涙ぐましい数多くの努力を積み重ねてきた事実を考えると、自分の発する一言が、友人や家族にとってどれだけ重要であり影響のあるものなのかを再認識しました。



21世紀の中心的存在となり生きていく生徒たちには、より広い視野を持ち、異文化を尊重する態度や異なる習慣・文化を持つ人々と共に生きていく態度をさらに養ってほしいと思います。



熊谷東中歳時記(8,9月)

東

～【行事連絡】～

今年度の体育祭、及び東雲祭(合唱コンクール)は、以下のように実施する予定ですのでご承知おきください。

○体育祭: 令和3年10月28日(木) 午前中 ※保護者参観なし

○東雲祭: 令和3年11月26日(金) 学年ごと ※時間は今後検討、保護者参観ありの予定



熊谷東中職員 AED 講習会



夏休み中に、我々職員も消防本部の方を招聘し、いざという時に備え、AED講習会を実施しました。



学校の教育活動で、AEDを活用しなくてもすむよう、今後も予防策をとっていきます。

分散登校で前期後半開始

緊急事態宣言下における市内の感染状況の影響で、9月17日(金)まで各クラス2班に分かれての分散登校としました。2週間かけて、1週間分の授業実施となりました。



部活動は日数や時間制限でスタート



新人戦県大会が中止となり、地区大会は延期となりましたが、活動としては平日2日間、90分以内という制限の中、分散登校中から部活動を実施できました。限られた時間の中、延期された地区大会に向けて実力をつけていくしかないですね。

前期期末テスト・全学年実力テスト実施

分散登校解除後、全学年とも前期期末テストと実力テストを実施することができました。11月の教育相談にて話題にしていきたいと思います。



大里地区児童生徒発明創意くふう展及び研究発表会結果

今年度は発明創意くふう展で6名金賞を受賞し、研究発表でも1名出場し金賞を受賞することができました。

【発明創意くふう展出品】

3年生女子「ラクラク筆洗い」2年女子「CANクラッシャー」、1年男子「荷ひもリール」1年男子「縮んじょうカサ入れ」、1年男子「子どものためのかさたて」1年女子「赤ちゃんの便利グッズ」

【研究発表出場】

1年男子「防災食を作る」

